

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	MTBプロジェクト in 南箕輪
事業主体 (連絡先)	南箕輪村観光協会 0265-72-2180
事業区分	ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,691,080 円 (うち支援金: 1,231,000 円)

事業内容

- 一般開放 (7月~11月毎月第一、第三日曜日)
7月18日 29名、10月3日 45名、10月17日 11名、
11月14日 14名
7月4日、8月15日は雨により中止。9月5日、9月19日は新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止。
- ガイドツアー
随時募集したが参加者0名。
- 山の日イベント
雨天により中止。
- ボランティア作業
6月26日 11名によるセクション(木製ラダー)の設置。



【一般開放の様子】

【目標・ねらい】

- ① 観光推進
- ② 村有林活用
- ③ 地域住民の交流促進

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

○大芝高原の観光推進

体験型イベントを実施することで家族層の獲得につながった。また、既存施設とMTB利用の相乗効果があった。

○村有林活用

使用していない村有林へトレイルの整備を行った。国内トレイルと比較して、高低差のない平坦なコースのため誰でも楽しめるコースとなった。

○地域住民との交流促進

ボランティア作業を通じて、住民同士の交流、トレイルへの愛着を図れた。

※自己評価【 B 】

【理由】

コロナ禍では集客活動が難しく、また雨天の中止もあったが、一般開放では参加者同士の交流を図ることができ、既存施設との相乗効果も一定以上あった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

初心者でも走りやすい平坦なトレイルが整備され、実際に初心者が利用者の大半であった。3年目は中級者・上級者も多くいたが、今後はさらなる利用者数増加のために、母数が非常に多い初心者層やマウンテンバイク以外の目的で来た人を対象とした告知を検討していく。

事業の継続については、予算の確保等が課題となる。委託業者だけで自走できる段階に至っていないためである。また、最終的には村で検討されている大芝高原全体の将来像に応じた形となる可能性が高い。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)